

学校教育の崇高な地を称える

私たちは、於茂登連山の頂から文明の恩恵を授かり、眼下に広がる雄大な太平洋から時代の息吹を浴し、宮良村の人々から慈愛に満ちあふれた温かい眼差しを受け、心豊かに健やかに育まれてきた。

かくして、わか村に学校が創立され教育の歴史が積み重ねられると、人々の暮らしにも潤いが生まれ、望みを託す子どもたちの声が村中に響き渡り、学校と敷地が一体となって明日への活力がみなぎった。

一九二七年（昭和二年）から一九六〇年（昭和三十五年）の間、この地に宮良小学校が存在した。

思いを馳せるに、草創期の混沌とした困難な状況下において先輩方の果敢な行動力と教育愛は、地域の学校として名実ともに輝かしい校風を樹立した。歴史と伝統に支えられた学び舎は、村の繁栄・社会の発展に大きく寄与した有能な人材を輩出し、人々へは未来へ羽ばたく学校教育の橋わたしを果たし、その教育活動は今日に至るまで脈々と着実に受け継がれている。

私たちはこの崇高な地において、教育の礎が築かれたことに誇りを持ち、深い感銘と感謝の念を抱き、ここに「宮良小学校跡地記念碑」を建立し、宮良村における学校教育の変遷を悠久に伝えることとする。
平成から令和に変わるこの時に、改めて宮良小学校の「主な沿革」を顧みて栄光の歴史を刻印し、宮良村の更なる飛躍と発展と弥栄を祈念する。



↑
※除幕式の様子

